



＜区民と共有する将来都市像3案＞

案1 「住まう・働く・訪れる」大田区らしい景色が人々を惹きつける

大田区らしい景色とは、海や川に囲まれた豊かな水と緑、住・商・工などさまざまな表情を見せるまちなみ、国内外とつながる空港や港湾、長く育まれてきた歴史や文化など、多様性を持つ都市において、人々の「住まう・働く・訪れる」という活動が、地域力を源として生き生きと展開されている様子です。

グローバル化の進展、少子高齢化の進行、自然災害の激甚化、技術革新の進展など、都市を取り巻く環境は日々変化しています。このような状況に柔軟に対応しながら、多様性を育み、大田区らしい景色がより多くの人を惹きつける都市を実現していきます。

評価◎

案2 大田区らしさが「住む人・働く人・訪れる」人を惹きつけ成長し続ける都市

大田区らしさとは、海や川に囲まれ水と緑が豊かなこと、住・商・工さまざまな表情を見せるまちなみがあること、国内外とつながる空港や港湾が存在していること、長く育まれてきた歴史や文化があることなど、多様性を持つ都市であることです。それぞれの特性をより深める都市づくりを進めることで、「住む人・働く人・訪れる人」などさまざまな人にとって魅力的な都市を目指します。

グローバル化の進展、少子高齢化の進行、自然災害の激甚化、技術革新の進展など、都市を取り巻く環境は日々変化しています。このような状況に柔軟に対応しながら、多様な特性を深め地域力と結びつけることで、成長し続ける都市を実現していきます。

評価○

案3 大田区らしい都市づくりが「住まう・働く・訪れる」ことの魅力を高めます

海や川に囲まれた豊かな水と緑、住・商・工さまざまな表情を見せるまちなみ、国内外とつながる空港や港湾、長く育まれてきた歴史や文化など、多様な特性をより深める大田区らしい都市づくりを進めることで、大田区で「住まう・働く・訪れる」ことの魅力を高めます。

グローバル化の進展、少子高齢化の進行、自然災害の激甚化、技術革新の進展など、都市を取り巻く環境は日々変化しています。このような状況に柔軟に対応しながら、多様な特性を深め地域力と結びつけることで、大田区らしい都市づくりを進めます。

評価△